

一般質問

丸山忠男
議員

● 勝山市版地方創生について ● 「道の駅」の設立について



そのほかの質問
・地場産業振興について
・医療費補助について
・白山ユネスコエコパークの今後の展望について

問 日本政府は昨年、14年後の2060年に1億人程度の人口を維持しながら経済成長力を確保するというビジョンのもとに、その達成に向けた平成31年度までの5カ年の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を打ち出し、福井県もまた目標値や具
答 勝山市においては「勝山の地域資源を活かして多様な仕事と需要を生み出す」、「ジョパークの豊かな自然と暮らしの中に、人や企業の流れを創り、定住化を促進する」、「縁結びから子育て・教育まで、充実した環境のなかで次の世代を育てる」、「いつまでも住み続けたい、安全安心で豊かな地域コミュニティの中に『ワークワクする」ときめくまち』を創る」という4つの重点戦略を設定し、それぞれの施策を検討している。

問 勝山市における「道の駅」の設置については、前回の6月議会において市長は恐竜博物館、スキージャム勝山に車で来訪する年間100万人以上の観光客が1番期待し、「道の駅」の計画が現在の利便化されていないことは誠に残念であり、整備計画を策定すべきと考える。近隣の「道の駅」よりも優位性がある勝山市の「道の駅」は少なくとも3年から4年後には開業するべきではないか、と述べています。今議会においてより具体的な形で市長の見解を伺う。

答 「道の駅」建設整備に係る業務を迅速かつ効率的に進めるために、庁内関係部課長等をメンバーとし、勝山市「道の駅」建設推進チームを設置し、4つの候補地について、客観的要件を基に比較検討を進めている。検討した結果について今議会の中で説明し、「道の駅」整備に向けて議論を深め、「道の駅」の設置箇所を絞っていききたい。

一般質問

松山信裕
議員

● 地方創生総合戦略について ● 観光戦略について



そのほかの質問
・「まち・ひと・しごと地方創生総合戦略」について
・白山ユネスコエコパークについて

ゆめおーれ勝山の体験コーナー

問 勝山市の地方創生総合戦略の中で「日本版DMO」をどのよう位置づけていくのか。市の考えを伺う。

答 勝山の地域資源を活かして新たな仕事と需要を生み出すことを重点戦略の一つに挙げたいと考えており、日本版DMOを確立しようとする国や勝山商工会議所の動きは、勝山市における観光の産業化をさらに一層進め、新たな仕事を創出することから、今回の戦略にはDMO（観光まちづくり組織）などについても記載したい。

問 ①勝山商工会議所により策定された「観光の産業化」などの総合的、戦略的な取り組みを目指した「勝山まちなか観光戦略」を市としてどのように考えているのか。
②インバウンドの環境整備を進めるべきではないか。

答 ①勝山市の地方創生総合戦略における柱の一つとして、今後の勝山市の観光戦略を担う「(仮称)観光まちづくり会社」の設立について十分に商工会議所の考え方を聞き取り、支援について検討を始めた。②これまでも、恐竜渓谷ふくい勝山ジオパークの案内看板の英語表記や英語版観光パンフレットの整備などに努めてきたが、今後はニーズの高い公共WiFiの整備や、ゆめおーれ勝山や白山平泉寺歴史探遊館まほろばを含む市内観光施設内における掲示物の英語化を急ぐとともに、インターネットなどを活用した海外への情報発信や英語圏の他、ヨーロッパ、アジアを意識した多言語への対応や食事の提供などを進めていく。

※「日本版DMO」官民連携型観光推進体制：様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくりや、情報発信、マーケティング、戦略策定等について地域が主体となつて行う観光地づくりの「推進主体」のこと